

# 平成27年度決算の概要について

## ○貸借対照表

※本学の財政状態を明らかにするため、資産、負債及び純資産の価額と内容を示したもの

(単位：百万円)

資 産		(対前年度)	負 債		(対前年度)
固定資産	69,081	(△ 835)	固定負債	6,996	(134)
有形固定資産	68,220	(△ 735)	資産見返負債	4,353	(290)
土地	37,356	(0)	引当金	129	(△ 7)
建物等	23,800	(△ 1,036)	資産除去債務	77	(0)
工具器具備品	756	(△ 83)	その他固定負債	2,435	(△ 150)
図書・美術品・その他	5,971	(49)	流動負債	3,042	(△ 249)
建設仮勘定	335	(335)	運営費交付金債務	0	(△ 288)
無形固定資産	32	(△ 0)	未払金	1,054	(△ 122)
投資その他の資産	828	(△ 100)	その他流動負債	1,988	(161)
			負債総額	10,038	(△ 116)
流動資産	2,250	(△ 22)			
現金・預金	2,077	(128)	純資産		(対前年度)
未収学生納付金収入	33	(7)	資本金(資本剰余金含む)	60,969	(△ 901)
有価証券	0	(△ 99)	利益剰余金	324	(161)
その他流動資産	139	(△ 58)	純資産総額	61,293	(△ 741)
資産総額	71,332	(△ 857)	負債純資産総額	71,332	(△ 857)

当期の減価償却及び除却等による減少1,214百万円

特別経費措置等による増加189百万円  
(減価償却等による減少272百万円)

建設仮勘定見返施設費(IRCA)による増加335百万円

第2期中期目標期間最終年度における運営費交付金債務残高収益化

損益外減価償却費の増加による減少902百万円

## ☆TOPICS

### ◆特別経費等による工具器具備品の取得

文部科学省特別経費によるピアノ等設備費予算措置等により、工具器具備品の取得が189百万円の増加となっています。

### ◆建設仮勘定見返施設費の増加

国際芸術リソースセンター(IRCA)事業の実施により、建設仮勘定見返施設費が335百万円の増加となっています。

### ◆運営費交付金債務残高収益化

第2期中期目標期間最終年度における債務残高の収益化により、運営費交付金債務の残高はゼロとなっています。

# ○損益計算書

※本学の運営状態を明らかにするため、年間の費用と収益の内容を示したもの

(単位：百万円)

収 益		費 用	
(対前年度)		(対前年度)	
<b>経常収益</b>		<b>経常費用</b>	
運営費交付金収益	4,916 (465)	教育経費	1,490 (△ 2)
学生納付金収益	2,054 (76)	研究経費	482 (109)
外部資金収益	668 (△ 145)	教育研究支援経費	374 (70)
施設費収益	110 (82)	受託研究費等	476 (△ 102)
補助金収益	292 (117)	人件費	5,236 (313)
資産見返負債戻入	266 (△ 35)	一般管理費	318 (△ 18)
その他	317 (7)	財務費用・雑損	2 (△ 1)
<b>経常収益合計</b>	<b>8,626 (566)</b>	<b>経常費用合計</b>	<b>8,382 (370)</b>
<b>臨時利益</b>	<b>11 (11)</b>	<b>臨時損失</b>	<b>91 (77)</b>
入学料及び検定料の増額改定による増加82百万円 大型受託研究の終了による減少140百万円 大学の世界展開力強化、国立大学改革強化推進等補助金事業による増加126百万円 第2期中期目標期間最終年度における運営費交付金債務残高収益化		機能強化予算、退職手当増等による増加464百万円 資料館取り壊しによる固定資産除却76百万円 目的積立金による費用額44百万円	
		<b>当期純利益</b>	<b>164 (129)</b>
		<b>目的積立金取崩額</b>	<b>44 (44)</b>
		<b>当期総利益</b>	<b>208 (174)</b>

## ☆TOPICS

### ◆運営費交付金収益及び人件費の増加

文部科学省「特別経費(機能強化予算)」の増加及び退職手当等の増加により、運営費交付金収益及び人件費が増加しています。

### ◆入学料及び検定料の増額改定

入学料及び検定料の増額改定により、学生納付金収益が増加しています。

### ◆補助金の増加

文部科学省「大学の世界展開力強化事業」、「国立大学改革強化推進事業」等補助金の増加により、補助金収益が増加しています。

### ◆雑益の増加

入場料収入(7百万円増)や公開講座等収入(6百万円増)等が増加しています。